

平成 20 年度 第 2 回磯子区地域福祉保健計画推進委員会 次第

日時：平成 20 年 11 月 25 日 (火) 18:30～20:30
場所：磯子区役所 701 号会議室

<議 題>

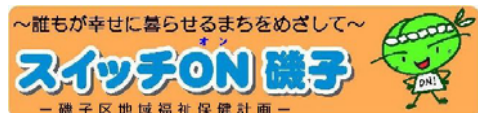
- 1 あなたの提案実現事業について 資料 1

- 2 しあわせバンクについて 資料 2

- 3 意識調査アンケートについて 資料 3

- 4 旧氷取沢小学校の後利用計画について 資料 4

- 5 その他
 - (1) みんな集まれ！「ふくしの広場」 資料 5
 - (2) 第 4 期高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画 資料 6
 - (3) 行列のできる！チラシづくり講座 資料 7
 - (4) 区民活動支援センターについて 資料 8



■あなたの提案実現事業について

①平成20年度 実施事業

<申請団体一覧>

	事業名	実施団体	助成金額	備考
1	子育て支援事業ステップアップ講座	子どもサポートセンター いそっこ	130,000円	㊹新規
2	障害児・者のノーマライゼーション、文化芸術活動の支援	NPO 法人地域コミュニティ ネットワーク・ヨコハマ	100,000円	㊹継続
3	手作りおもちゃ講座	キラキラ	100,000円	㊹継続
4	防災スキルアップ講座	さあどうする！防災	100,000円	㊹継続
5	思い出語りをききます隊	いそご回想法倶楽部	50,000円	㊹継続

1 子育て支援事業ステップアップ講座

(実施団体:子どもサポートセンターいそっこ)

目的	「楽しい子育てのまちづくり」の実現をめざし、子育てに関する保育付きの学習講座を開催する。講座を通して、子育て中の親子同士のふれあいの場を提供し親子相互の仲間づくりや世代間交流を図る。あわせて“子どもの一時預かり”や“親子のつどいの場”の担い手による支援活動のスキルアップをめざす。
これまでの実施状況・今後の予定	<p>1 9月24日 『リトミック体操』 講師:城田英子氏(リトミック講師) 会場:磯子地域ケアプラザ 参加数:母子22組 スタッフ17名</p> <p>2 10月28日 講演『心のビタミン^{アイ}I 足りてますか』 講師:荒川敬子氏(根岸星の子保育園園長) 会場:屏風ヶ浦地域ケアプラザ 参加数:11組 スタッフ15名</p> <p>3 今後の予定</p> <p>(1) 11月26日 『手遊びうた』 講師:古賀氏・堀田氏・日下氏(市民グループ保育従事者) 会場:磯子地域ケアプラザ</p> <p>(2) 平成21年1月21日 『読み聞かせのすすめ方、楽しみ方(講演&体験)』 講師:柏村茂氏(横浜市教育委員会学校図書館研究協力員) 会場:屏風ヶ浦地域ケアプラザ</p> <p>(3) 平成21年2月25日 子育てに関する講演(調整中) 会場:磯子地域ケアプラザ</p>
参加者の反応・今後の課題など	<ul style="list-style-type: none"> ・リトミック体操では、多くの参加者から「体を動かし親子で楽しめた」と感想がきかれ好評であった。今後、団体主催の“親子の集いの場”でもリトミック体操を取り入れていくことを検討中である。 ・講演会では、事前に参加者からの“質問”を受付け多くの相談が寄せられた。質問内容と子どもの成長にそったわかりやすい講演で「気づいたことを気軽に取り組んでみたい」という感想も多かった。講演終了後も個別相談の希望がでていた。

2 障害児・者のノーマライゼーション、文化芸術活動への支援事業
(実施団体:NPO法人地域コミュニティネットワーク・ヨコハマ)

<p>目的</p>	<p>家や施設内に引きこもりがちな障害児・者を対象に、区内の文化芸術団体や障害者施設と連携して、創作や音楽活動などの自立支援の活動を行うと共に、地域の人たちとの交流やノーマライゼーション促進を支援する。</p>
<p>これまでの実施状況・今後の予定</p>	<p>1 等身大肖像画教室開催 会場:いそご地域活動ホームいぶき 7～9月:3回実施 参加者:計20名</p> <p>2 音楽を通じたノーマライゼーション交流会 会場:いそご地域活動ホームいぶき (1) 10月25日いぶき祭りと併わせて開催 声楽家のピアノ演奏にあわせた美しいハーモニーは、障害者や家族の皆さんからの喝采を浴び会場の雰囲気盛り上げた 参加者:約60名</p> <p>3 今後の予定 (1) 音楽を通じたノーマライゼーション交流会 会場:いそご地域活動ホームいぶき 2月14日(土) ・声楽家と磯子区の地域合唱団とのジョイントコンサート ・創作作品の「アート製品化」を紹介 (2) 等身大の肖像画展示会 会場:磯子区役所区民ホール 3月2日～3月5日の4日間 ・創作活動の新作(約20点)を展示 ・パネル展示や商品デザイン化した「アート製品」も展示</p>
<p>参加者の反応・今後の課題など</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・肖像画教室では、参加者の集中力が向上し落ち着いて創作に取り組めるようになってきた。 ・交流会では、音楽を通して演奏者と参加者の一体感ある雰囲気が楽しめ、参加者数も昨年度より増加している。 ・今後の課題:区内の障害者施設の人たちへ参加の呼びかけなどを検討中である。

3 手作りおもちゃ講座 (実施団体:キラキラ)

<p>目的</p>	<p>母と子のつながりを強めるぬくもりのあるおもちゃ作りの講座を保育付きで開催し、子育て中の母親が孤立せず地域とのつながりづくりができるよう支援する。</p>
<p>これまでの実施状況・今後の予定</p>	<p>第1回: 4～7月 全7回 会場:屏風ヶ浦地域ケアプラザ 参加数:(実数)母子12組 (延数)母子64組</p> <p>第2回: 9～10月 全4回 会場:新杉田地域ケアプラザ 参加数:(実数)母子14組 (延数)母子48組</p> <p>第3回: 10～1月 全5回 会場:ヴェルドミールマンション集会場 参加数:(実数)母子16組 現在開催中</p> <p>第4回: 12月～ 会場:第2磯子ハイツ集会場 4～5歳児とその親を対象に親子で作れるおもちゃ作りを予定</p>
<p>参加者の反応・今後の課題など</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・参加者の半数は、縫い物経験が少なく1対1で縫い方から伝えた。講座は好評で会場がかわっても継続参加する母が6組いる。受講終了者の中から地域でおもちゃ作りの場を開催する人もでている。 ・課題:グループメンバーの増員については、時間の余裕のある人が少なく難しい。

4 防災スキルアップ講座（実施団体:さあどうする！防災）

<p>目的</p>	<p>地域の住民一人ひとりが防災に対する関心を深めることを通じて、地域のつながりについて考えるとともに、災害被害減少に寄与すること。</p>
<p>これまでの実施状況・今後の予定</p>	<p>1 10月4日「関東に大震災M8さあどうする」 参加者 20名 講師:さあどうする！防災グループ 会場:磯子地域ケアプラザ</p> <p>2 11月1日「住宅耐震補強、安全への投資」 参加者 10名 講師:一級建築士 大竹比呂志氏 会場:新杉田地域ケアプラザ</p> <p>3 今後の予定 (1) 12月4日「AEDと心肺蘇生法、応急手当」 講師:磯子消防署 会場:滝頭地域ケアプラザ (2) 2月21日「子どももできる防災、子どものための防災講座」 講師:さあどうする！防災グループ 会場:屏風ヶ浦地域ケアプラザ</p>
<p>参加者の反応・今後の課題など</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・参加者アンケートでは、災害直後の自治会町内会活動について関心が高く、防災マップづくりなどの講座希望もでた。耐震補強については問題意識がない人も多いという意見もあり、今後は耐震改修の周知活動も検討したい。 ・今後の課題:参加者増員が難しい。重要な問題だが関心の低いテーマの講座運営の工夫が課題である。アンケートから出た希望テーマについても検討していきたい。

5 思い出語りをききます隊（実施団体:いそご回想法倶楽部）

<p>目的</p>	<p>過去の思い出を語る「回想法」を通して、高齢者等の生きる力を引き出し、一人ひとりが自分らしく生きることを支援する。また、地域の人と人とのつながり作りや世代間交流を促進する。さらに、回想法を提供する活動に団塊の世代等の地域住民が参加することにより、介護予防や生きがいづくりの機会とする。</p>
<p>これまでの実施状況・今後の予定</p>	<p>1 11月7日 講演会「思い出を生きる力に」 参加者:25名 会場:上中里地区センター</p> <p>2 今後の予定 「思い出語りをききます隊養成講座」 第1回 11月21日 第3回 12月12日 第2回 12月5日 第4回 12月19日</p>
<p>参加者の反応・今後の課題など</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・アンケート結果では、ほぼ全員が回想法に興味を感じ、内容もよく理解できた。体験学習も役立ったという回答であった。 ・参加者のほとんどが民生委員など活動をしている人のため、今後回想法を地域の活性化に結びつける時、協力を得やすくよい効果が得られるのではないかと思われる。

② 過年度助成終了事業

事業名 実施団体名	助成年度	活動を継続しているか	継続している場合は実施内容の概要／継続していない場合はその理由	現在受けている補助金
福祉の街づくり ウォークラリー NPO横浜ユナイテッドフットボールクラブ	18年度	内容を変えて継続	20年8月24日 汐見台夏まつりにて「サッカーボーリング」を実施(約100人参加) ウォークラリーは場所の問題で実施できなかったが、幼少の子どもから大人まで楽しく参加できる企画として考えた。	なし
国際はなし場 おもいっきり楽しい国際交流	18年度	継続していない	19年8月に開設した「磯子区国際交流コーナー」(区役所2F)が月1回交流事業を実施しており、「国際はなし場」と目的が同じであるため、現在は活動を中止している。将来的には別の形で実施したいという意向はある。	—
磯子区子ども学習サポートセンター 子どもネット・コスモス	18年度	内容を変えて継続	20年10月4日 「発達の課題を考えるシンポジウム」開催(60人参加) ・学習支援ルーム 小学生対象…毎週木曜日(6~10人参加) 中学生対象…毎月第1・3火曜日(2人参加) ・スタッフ研修会(毎月第4木曜日)	磯子区青少年健全育成活動補助金(地域振興課)
マナーの街、感じさせる街づくり 街の魅力創造研究会	18年度 19年度	継続	20年9月 自治会町内会や関係者との意見交換会 12月 上中里団地餅つき大会にて、ゴミの分別などについての意見交換実施予定 ・メンバーによる検討会(月1回)	なし
日本食で異文化交流 倶楽部V	18年度 19年度	継続	20年4月 春の運動会のためのお弁当(13人参加) 8月 手打ちそば(30人参加) 12月 「EXPO手前味噌」実施予定 21年2月 味噌づくり実施予定	なし

■しあわせバンクについて ～根岸地区の「しあわせバンク」設立・解説書発行～

1 しあわせバンクの目的

地域の人材、活動グループ、活動内容などの情報を蓄積し、地域活動に関わっている人や関心のある人、情報を発信したい人や求めている人が、誰でも簡単に情報を得て、活用することができ、住民同士で地域を支え合う活動を活発化させることができるようにするものです。

2 根岸地区での設立経緯

昨年度末から具体的なイメージを模索しながら、各地区のスイッチON磯子推進委員会の方々を中心に意見交換をしてきました。その中で、根岸地区での設立に至った背景には、意見交換を行うなかで、“ゴミ出しカレンダー”の作成という取組が生まれ、設立へ向けた機運が高まったことや、地域ケアプラザの協力が得られたことがあります。

3 しあわせバンクの解説書について

本解説書は“根岸地区における”「しあわせバンク」のかたちを分かりやすくお示したもので、ハッピー根岸推進委員会と区役所が共同で作成しました。解説書のいくつかの図は、「しあわせバンク」を具体化するひとつのかたちだと考えています。

<解説書配布先>

①根岸地区

- ・[関係者向け] 根岸地区の自治会町内会長、班長、スイッチON磯子推進委員会、民生委員、地区社協会員等へ配布
- ・[一般区民向け] 根岸地域ケアプラザ、根岸地区センター、自治会町内会館等に置いて配布

②その他の地区

- ・10月17日の区連会にて報告後、全ての単位自治会町内会へ1部ずつ配布

※希望に応じてお配りしていきたいと考えています。

また、ホームページでも公開しています。

4 事業費について

地域情報を蓄積する役割を持つ「しあわせバンク」の窓口を担う組織に対して、運営にかかる費用や広報費用として助成金を支出して支援してまいります。根岸地区の場合は、根岸地域ケアプラザへ助成いたしました。

5 今後の進め方について

地区連単位にとらわれずに、また、町内会館を窓口とするなど窓口をケアプラザに限らずに、地域の実情に応じた「しあわせバンク」の設立を支援していきたいと考えています。

「しあわせバンクの取組を新たに始めてみよう」または「現在行っている同様の取組をさらに発展させてみよう」というお考えのある地域がありましたら、意見交換をさせていただきたいと考えています。

■意識調査アンケートについて

1 調査目的

今年度で3年目の折り返し点を迎えた磯子区地域福祉保健計画は平成 22 年度末をもって終了し、平成 23 年度から第2期の地域福祉保健計画が始まることとなります。

第2期計画は平成 21 年の秋頃から地域の皆様と共に策定していく予定ですが、第2期計画策定の準備作業として、地域の課題や地域活動への関心の度合いなどについてアンケート調査を実施したいと考えております。

2 調査対象・調査方法等

(1) 調査対象

根岸地区在住の 20 歳以上の区民 3,000 人

- ・ 20 年度はしあわせバンクを実施した根岸地区で先行して実施します。
- ・ 根岸地区の調査結果を参考にしながら 21 年度の他地区の調査方法等を検討します。

(2) 抽出方法

住民基本台帳及び外国人登録原票から無作為抽出

(3) 調査方法

調査票を郵送し、返信封筒にて回収

(4) 調査時期

平成 20 年 11 月 22 日～12 月 5 日

3 調査項目

別紙のとおり

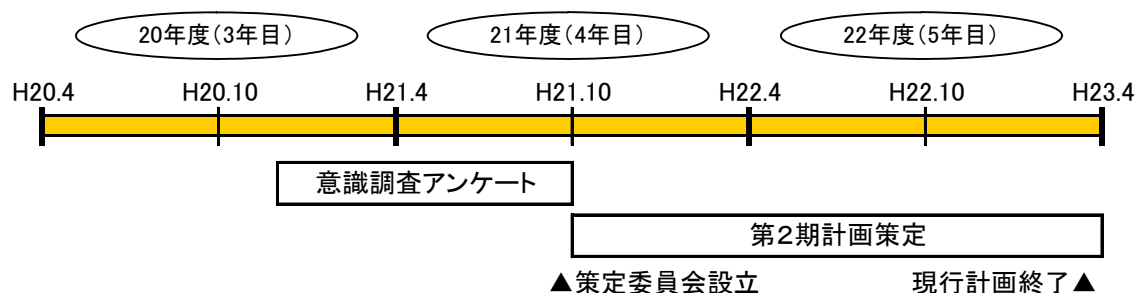
4 次期計画について

第2期磯子区地域福祉保健計画の策定スケジュール（案）は次のとおりです。

次回の推進委員会では、グループ討議形式などにより、現行計画の振り返りや次期計画策定の考え方等について意見交換をさせていただきたいと考えています。

また、各地区推進委員会にも現行計画の振り返りを行っていただくよう準備したいと考えております。

【策定スケジュール概要】



根岸地区の福祉と保健に関する意識調査

根岸地区の皆様には、平素から区政にご理解、ご協力をいただき、ありがとうございます。

磯子区では誰もが幸せに暮らせるまちづくりをめざして、磯子区地域福祉保健計画（愛称：スイッチON 磯子）を策定し、今年度は第一期計画の3年目に当たります。

今後も根岸のまちを誰もが幸せに、安心して暮らせるまちにしていくために、地域の課題や皆さまの考え方、これまでの地域福祉保健計画の取組に対する認知度やこれからのまちづくりへの期待などを把握するために、根岸地区在住の皆様アンケート調査を行うこととなり、20歳以上の区民の方々の中から3,000人の方を無作為に選ばせていただきました。皆様から得られました声を十分活かして、第二期地域福祉保健計画における根岸地区の計画を策定してまいりたいと思います。なお、ご回答いただいた内容は、全て統計的に処理をいたしますので、決してあなた様のお考えが公表されたり、回答内容が外部に漏れることはありません。

お忙しいところ、誠に恐縮ですが、どうか本調査の趣旨をご理解いただき、ご協力賜りますよう、お願い申し上げます。

磯子区長 守屋 直

【ご記入に際して】

ご記入いただいた調査票は、同封の返信封筒にて **12月5日（水）まで**にご投函下さい（切手は不要です）。なお、本調査の内容や記入の仕方などで、わからないことがございましたら、お気軽に下記までご連絡下さい。

お問い合わせ先：磯子区役所 磯子福祉保健センター 福祉保健課事業企画係
電話：045-750-2442 担当：伊東、中村

問1：あなたの性別をお答えください。（○は1つ）

1. 男性	2. 女性
-------	-------

問2：あなたの年代をお答えください。（○は1つ）

1. 20歳代	2. 30歳代
3. 40歳代	4. 50歳代
5. 60歳代	6. 70歳以上

問3：あなたが現在一緒にお住まいの家族の構成をお答えください。(○は1つ)

1. 一人暮らし	2. 夫婦二人
3. 配偶者と子どもの二世帯(いわゆる核家族)	4. 親と子どもと祖父母の三世帯
5. その他(具体的に)	

問4：あなたの現在の就業状況をお答えください。(○は1つ)

1. 勤めている
↓
具体的にお願いします(○はいくつでも)
1. 常勤 2. パート 3. アルバイト 4. 派遣社員 5. 契約社員 6. 嘱託 7. その他
2. 自営業者・自営業の手伝い
3. 主婦専業
4. 学生
5. 無職
6. その他(具体的に)

問5：あなたがお住まいの町名。(○は1つ)

1. 上町 2. 馬場町 3. 坂下町 4. 下町 5. 原町 6. 西町 7. 東町

問6：根岸地区の中で、最近気になること、心配なことはありますか。①から⑩についてそれぞれ(大変気になる・やや気になる・あまり気にならない・全く気にならない)のいずれかでお答えください。(○はそれぞれ1つずつ)

	大変気になる	やや気になる	あまり気にならない	全く気にならない
①子どもたちの誘拐や不審者	1	2	3	4
②青少年の非行や不登校	1	2	3	4
③子育て世代の育児不安	1	2	3	4
④若者の雇用不安	1	2	3	4
⑤団塊世代の地域での活動の場	1	2	3	4
⑥増加する高齢者世帯と地域との関わり	1	2	3	4
⑦災害時の避難体制	1	2	3	4
⑧空き巣や盗難、振り込め詐欺	1	2	3	4
⑨マナーの悪い人の増加	1	2	3	4
⑩環境問題	1	2	3	4

上記以外に、地域で気になることがあれば、下の欄にお書き下さい。

--

問7：あなたご自身のことで、困っていること（手助けがほしいこと）はありますか。（〇はいくつでも）

1. 話し相手がない
2. 福祉や子育てサービスの情報がない
3. 近所の人とのつながりができない
4. 声かけや安否の確認をしてほしい
5. ゴミ出しの手伝いをしてほしい
6. 買い物の手伝いをしてほしい
7. 子どもを預かったり、送り迎えをしてほしい
8. 子育ての相談にのってほしい
9. 電球の交換など簡単な家事をしてほしい
10. 掃除、洗濯、食事作りなどの家事を手伝ってほしい
11. 病院や散歩などの付き添いをしてほしい
12. 家族の身の回りの世話に手助けがほしい
13. その他（具体的に

)

問8：あなたは、困ったこと（手助けしてほしいこと）があったとき、頼りにしている人（相談できる人）がいますか。（〇はいくつでも）

1. 家族・親戚
2. 隣近所の方
3. 友人、知人、職場の同僚
4. 民生委員児童委員
5. 自治会町内会の方
6. 病院の方
7. 薬局の方
8. 学校の先生
9. 利用している施設（介護施設や幼稚園・保育園など）の職員
10. 利用しているサービス（介護サービスや子育てサービスなど）担当者（ヘルパーなど）
11. 区役所職員
12. その他（具体的に

)

問9：あなたは、地域に困っている人がいた時、「これなら協力できる」ということはありますか。あなたができそうなことは「これならできる」の欄に○をつけて下さい(○はいくつでも)。その中で既に行っていることがある場合は右側の「既に行っている」の欄に○をつけて下さい。(○はいくつでも)

		「これならできる」 (○はいくつでも)	「既に行っている」 (○はいくつでも)
1	話し相手、相談相手		
2	声かけや安否の確認		
3	ゴミ出しの手伝い		
4	買い物の手伝い		
5	子どもを預かったり、送り迎えをする		
6	子どもたちにスポーツや遊びを教える		
7	部屋の掃除や片付け		
8	草むしりや庭の清掃		
9	食事づくりなどの手伝い		
10	電球などの交換		
11	病院や散歩などの付き添い		
12	その他（具体的に)		

問10：あなたは、以下のような地域活動に参加してみたいと思いますか。参加してみたい活動は「参加してみたい」の欄に○をつけて下さい(○はいくつでも)。その中で既に参加している活動がある場合は右側の「既に活動している」の欄に○をつけて下さい。(○はいくつでも)

		参加してみたい (○はいくつでも)	既に参加している (○はいくつでも)
1	避難訓練、夜の見回りなど防災活動		
2	地域のパトロールなど防犯活動		
3	清掃活動など地域をきれいにする活動		
4	会報の発行など地域情報の発信		
5	地域の行事の企画や運営		
6	地域の行事の裏方やお手伝い		
7	自分の趣味や特技を活かした活動		
8	高齢者の訪問見守り活動やボランティア活動		
9	体操など健康づくりのための活動		
10	その他（具体的に)		

問 1 1 : 既に地域活動に参加されている方にお聞きします。あなたはどのようなきっかけで地域活動に参加されるようになりましたか (〇はいくつでも)。

1. 地域の施設の行事に参加した
2. 地域の施設の講座や講習会に参加した
3. 自治会町内会の行事に参加した
4. チラシやポスター、お知らせを見た
5. 広報よこはまを見た
6. 知り合いや近所の人、家族に誘われた
7. NPOやボランティア団体から誘われた
8. 子育ての仲間やサークル活動、趣味の仲間などのつながり
9. その他 (具体的に

)

問 1 2 : すべての方にお聞きします。あなたは、今後、地域活動に参加するためには、また既に行っている方は今後も続けていくためには、どのような条件が整っている必要があると思いますか。(〇はいくつでも)

1. 手続きなどが簡単でわかりやすい (気軽さ)
2. 交通費などの実費が支払われる
3. 多少の報酬(交通費以外)が支払われる
4. 自分の趣味や特技にあっている
5. 自分の生活リズム (時間帯や活動場所) にあっている
6. 仲間がいる
7. 地域の中で身近な情報が入手できる
8. 知り合いや近所の人、家族からのお誘いや声かけがある
9. 地域の施設や自治会町内会で行事や講習会が開催される
10. 活動内容についての詳しい情報や活動している人の話を聞くことができる
11. 広報よこはま磯子区版で紹介される
12. 試しに参加できる機会がある
13. 活動時の保険などの補償がしっかりしている
14. 家族の理解が得られる
15. 活動をやすくするようなサービスがある (子どもを預かる、介護や見守りが必要な者をみてるなど)
16. 地域の中で相談できる場がある
17. その他 (具体的に

)

問13：いつまでも健康でいきいき暮らしていくための健康づくりの取組で、参加してみたいと思う事業はありますか。(〇はいくつでも)

1. 体操教室	2. 体力測定
3. 骨密度測定 (骨粗しょう症予防)	4. 生活習慣病についての講演会
5. うつ病についての講演会	6. 脳卒中についての講演会
7. がんについての講演会	8. インフルエンザについての講座
9. 禁煙教室	10. 認知症についての講演会
11. 食の安全についての講座	
12. その他 (具体的に)

問14：現在のあなたの喫煙状況についてお聞きします。(〇は1つ)

1. 吸っている	2. 以前吸っていた(今は吸っていない)	3. 吸わない
----------	----------------------	---------

問15：受動喫煙防止対策について、以下の①～⑦の施設について、それぞれ(すぐに全面禁煙にすべき・猶予期間を設定して全面禁煙にすべき・吸える場所と吸えない場所をしっかりと区分すべき・特に対策の必要はない)のいずれかでお答えください。(〇はそれぞれ1つずつ)

	すぐに全面禁煙にすべき	猶予期間を設定して全面禁煙にすべき	吸える場所と吸えない場所をしっかりと区分すべき	特に対策の必要はない
①官公庁 (区役所・市役所等)	1	2	3	4
②病院	1	2	3	4
③交通機関 (駅・バスターミナル等)	1	2	3	4
④ファミリーレストラン・喫茶店等の飲食店	1	2	3	4
⑤アルコールを主に提供する飲食店 (居酒屋等)	1	2	3	4
⑥デパート・スーパー等	1	2	3	4
⑦遊技場・娯楽施設 (マージャン店・パチンコ店等)	1	2	3	4

問16：根岸地区で自慢できることは何ですか。(〇はいくつでも)

1. 人情が厚い
2. 自治会町内会活動が活発
3. 子どもたちがきちんと挨拶できる
4. 地域のいろいろな人といっしょに集まることのできる場や機会が多い
5. 隣り近所でお互いに声を掛け合っている
6. みんな根岸地区に愛着を持っている
7. まちがきれい
8. 歴史や文化に富んでいる
9. その他 (具体的に
)

問17：あなたがご存知の団体や名称に○をつけて下さい。(○はいくつでも)

1. 根岸地区社会福祉協議会(地区社協)	2. 民生委員児童委員
3. 保健活動推進員	4. 老人クラブ・友愛活動推進員
5. 青少年指導員	6. 体育指導委員
7. 子ども会	8. 食生活等改善推進員(ヘルスマイト)
9. 消防団	
10. その他(具体的に)

問18：あなたは地域の情報をどのような手段で入手していますか。(○はいくつでも)

1. 広報よこはま	2. 区のホームページやインターネット
3. 自治会町内会の回覧板	4. 自治会町内会の掲示板
5. 区社会福祉協議会発行の「福祉いそご」	
6. 公共施設(介護施設・保育施設など)の窓口やお知らせ、掲示板	
7. 学校からのお知らせ	8. ミニコミ誌
9. 口コミ(家族、地域の人、友人、職場の同僚、民生委員、ヘルパーなど)	
10. その他(具体的に)

磯子区地域福祉保健計画(愛称:スイッチON磯子)について、うかがいます。

問19：あなたは、以下のことばをご存知ですか。○はいくつでも(名前だけは聞いたことがあるというものでかまいません)。

1. 地域福祉保健計画	2. スイッチ ON 磯子
3. ハッピー根岸	4. しあわせバンク

※上記のことばの詳細内容は、アンケートの最後に記載しています。

問20：根岸地区の地域福祉保健計画の大きな柱は次の4項目です。

- 1. 根岸の子どもを守り育て、地域での子育てを考えよう**
- 2. いつまでも健康でいきいき暮らそう**
- 3. 誰もがつながり、助け合うまちをつくろう**
- 4. マナーを守って、きれいで気持ちのよいまちをつくろう**

それぞれの項目を達成するために、あなた、またはあなたの地域が、どのようなことに取り組んでいくことが必要だと思えますか。ご意見、ご提案、こんなことならできそう、ということがあれば、それぞれの下欄にお書きください。

1. 根岸の子どもを守り育て、地域での子育てを考えよう

例) 子ども達との交流の場づくり、子育て中の親御さんや子ども達の相談にのる、など

--

2. いつまでも健康でいきいき暮らそう

例) 歩きやすい散歩コースのマップをつくる、ラジオ体操の会をつくる、など

3. 誰もがつながり、助け合うまちをつくろう

例) 声かけや挨拶を心がける、気軽に集まれるお茶飲み会を開く、など

4. マナーを守って、きれいで気持ちのよいまちをつくろう

例) 地域での約束事をつくる、花いっぱい運動をする、など

問2 1: 最後に、これから根岸地区で、こんな取組があったらいいなと思うことがありましたら、自由にお書き下さい。

以上です。ご協力ありがとうございました。

ことばの説明

- 1 地域福祉保健計画
公的サービスの提供という狭い意味での社会福祉の枠を超えて、人々の暮らしを支え、充実するための、あらゆる取組のことを定めた計画のことです。
- 2 スイッチON磯子
磯子区の地域福祉保健計画（H18～）の愛称です。
詳しく知りたい場合は区役所で配布している冊子か
磯子区ホームページ（トップページ右上から進めます）
をご覧ください。
- 3 ハッピー根岸
磯子区の中の根岸地区の地域福祉保健計画の愛称です。地域福祉保健計画は、横浜市版＞磯子区版＞磯子区の中の各地区版というように、大きな地域から身近な地域まで定められています。
- 4 しあわせバンク
地域の人材、活動グループ、活動内容などの情報を蓄積し、地域活動に関わっている人や関心のあ
る人が誰でも簡単に情報を得て、活用することができるようにする仕組みのことです。他地区に先がけ
て、根岸地区でこれから取り組もうとしています。

～誰もが幸せに暮らせるまちをめざして～

スイッチON磯子

磯子区地域福祉保健計画

